

# ミックスジュース

学級通信  
鯉沢中  
3年生  
2018年5月24日  
No. 8  
明日は中間テスト



## 道徳「ライバル～啓介と康夫～」



### 読み物について

仲の良い友である啓介と康夫は、水泳においても良きライバルです。とはいえ、啓介はいつも康夫に勝つことができず、二番手に甘んじていました。そんなとき、康夫の病によって健介にチャンスがやってきます。今回の読み物には、そんな二人が自分の汚れた心に気づき、友情とのはざままで苦悩する姿が描かれています。

啓介と康夫におとすれた試練は、二人の友情をぐらつかせますが、最終的に二人の絆はいっそう深まります。立場の異なるそれぞれの思いに共感しながら、真の友情とは何かを考えました。



### 今日の授業で学んだこと、考えたこと（「友情にとって大切なこと」という観点で…）

- ☪ 友情はいつの間にか（自然に）できているものだと思った。そして、友とライバルは表面的には違うけど、根本的には一緒だと思った。友であるからライバル、ライバルであるから友なんじゃないかと今日学びました。
- ☪ 友情にとって大切なものは支え合いだと思った。啓介にも康夫にも弱いところがある。それを支えたり、支えてもらったりできれば、友情の一步につながると思った。私も、支え合える友情をクラスで深めていきたい。
- ☪ お互いに尊重し合える関係だと思う。友情は目に見えなくてわかりにくいものだけど、とても繊細なものだと思う。でも、その友情をどんな形であっても育んでいくことが大切だと思った。
- ☪ どんな時にも「相手の背中を押す」ことだと思った。啓介は康夫を思ってお見舞いに行く一歩を踏み出して慰めていた。康夫は啓介のことを手紙という形で応援していた。自分がどんな局面になっても、友だちの背中を押せば、それがかたい友情だと思う。
- ☪ 友情にとって大切なものは試練だと思う。啓介や康夫のように試練があったからこそ、改めてお互いと向き合うことができることもたくさんあると思う。壁を乗り越えて深まっていくのが友情。

